

講演：文化と視覚表象—アート・デザイン・広告に見られる文化差の研究

日時：2013年6月14日（金）午後1時～2時20分

場所：京都大学こころの未来研究センター

京都大学稲盛財団記念館3階 大会議室

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html#center>

テーマ：文化と視覚表象 — アート・デザイン・広告

に見られる文化差の研究 **【公開講演：入場自由】**

講師：増田 貴彦（カナダ・アルバータ大学准教授）

要旨：近年誕生した、人類学・言語学・心理学・神経科学の学際的研究分野—文化心理学—は、文化とこころの相互構築プロセス（文化⇔こころ）の解明を目指している。なかでも東アジア文化圏と北米文化圏の心理過程を対象とした研究では、それぞれの文化圏で歴史的に蓄積された思考様式の違いが、「注意」のような基本的な心理プロセスにまで影響を及ぼすことを示すデータが報告されている（「文化→こころ」の研究）。今回の講義では、それぞれの文化圏でみられるアート・デザイン・広告といった視覚表象にも、その文化の人間観・世界観が反映されていることを示す事例を紹介し（「こころ→文化」の研究）（e.g. Masuda, Gonzalez, Kwan, & Nisbett, 2008; Wang, Masuda, Ito, & Rashid, 2012）、文化心理学の今後の発展のためには「文化→こころ」および「こころ→文化」の双方向的な研究が必要であることを論じる。

企画司会：子安 増生（京都大学大学院教育学研究科教授）

お問合せは HGB03675@nifty.com（子安）